

本校は、全校生徒210名、
通常学級7、特別支援学級2です。生徒は3小学校から入学してきます。
平成23年度から小中連携をすすめる、様々な取組を協力して行ってきました。
さらに、笠岡市では令和5年度からの小中一貫教育の本格実施に向けて、笠岡市の学校教育基本方針
「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てる」のもと準備を進めています。

はじめに

「これからの社会において身につけなければならない重要な資質は何か」-この問いについて考えたことが、今回の研究の始まりでした。その結果、次の二つの資質があることに気づきました。

「健康に関心をもつこと」

「科学的な根拠や知識に基づき、自身の健康を管理できるようになること」

これらの力をつけさせるために、様々な角度からアプローチを試みました。そのときに心がけたのは、「生徒の主体性を最大限に生かすこと」です。そして、学校を基盤とした生徒たちの主体的・創造的な取組が、よい連鎖を起こし、家庭、地域を巻き込んで継続的に発展し、多くの人々の資産としてつながっていくことを願いながら、研究を進めてまいりました。

この研究が、さらなる広がりを見せ、これからも継続的に発展し、一人一人の生涯にわたる習慣として根づいたものになりますよう心より願っております。

笠岡西中学校前校長 木村茂徳

1 研究の概要

(1) 研究主題について

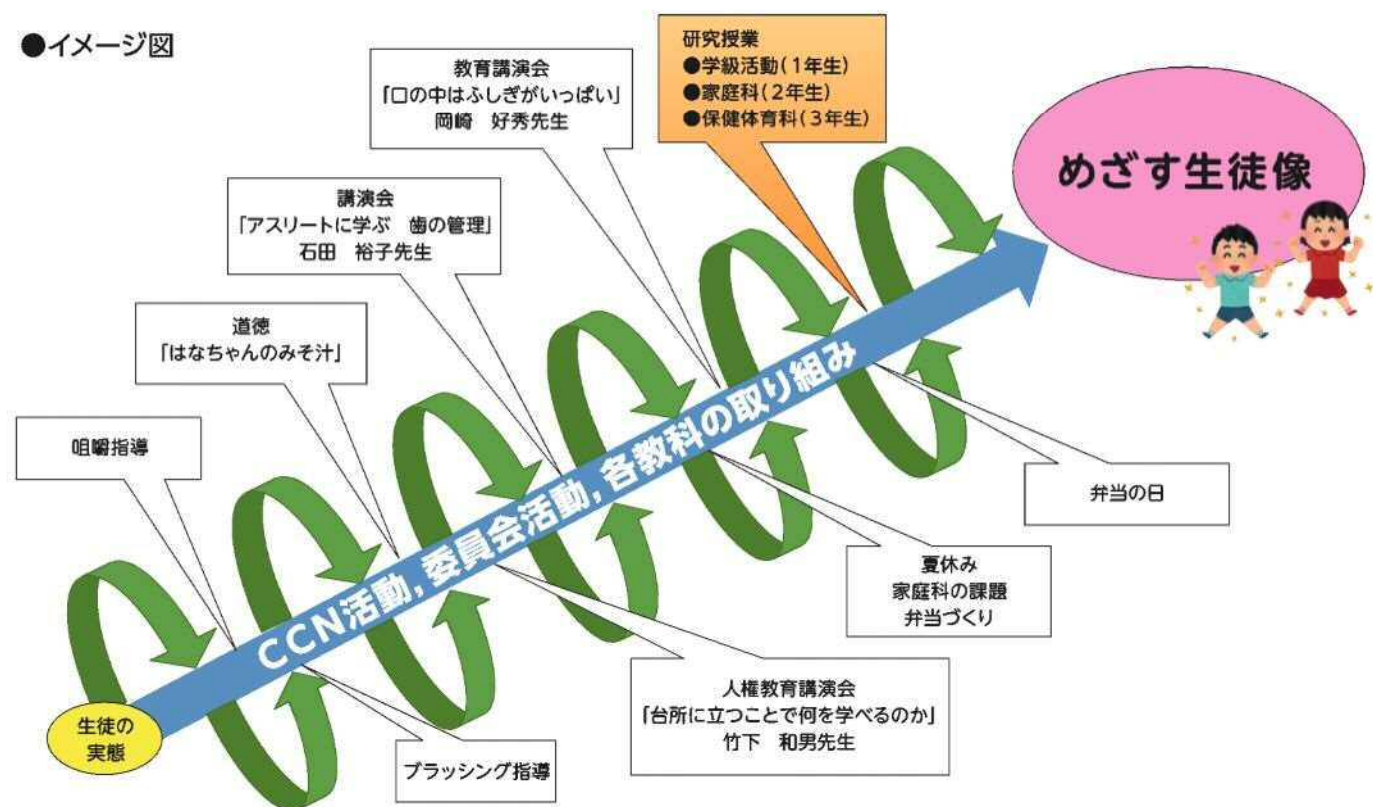
研究主題は「つながり合い高め合いながら生涯にわたる健康づくりに主体的に取り組む生徒の育成～歯・口の健康づくりを通して～」とする。「つながり合い高め合いながら」とは、自分だけに止まらず、家族や地域ひいては、子や孫の世代にまでとらえる。

- ①主体的に自ら健康を考える生徒
- ②自他の健康づくりにすすんで取り組むことができる生徒
- ③生涯を通じて健康を支える生活習慣を確立できる生徒

(2) 研究の重点について

〔学習活動・授業〕〔日常生活の指導〕〔家庭・地域との連携〕の3本立てで、実践していく。(2ページ参照)

●イメージ図



「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」笠岡西中学校における研究推進全体構想図



研究の重点		
(1)【学習活動・授業】 様々な教育活動を通して生徒の主体的・意欲的な学習を促す授業づくり	(2)【日常生活の指導】 組織的・計画的な活動を通して、生徒の意識を高め、継続できる日常生活の指導	(3)【家庭・地域との連携】 家庭・地域と連携するとともに中学校区全体への健康教育の推進
仮説1 各教科及び学級活動や総合的な学習の時間などで横断的な学習活動を通して生徒の興味・関心を高め、理解を深めることで、主体的・意欲的な学習につながり、歯・口の健康づくりを保持増進し、生活習慣の改善を図ろうとする態度を身につけることができるであろう。	仮説2 日常生活の指導や生徒会活動、行事などの取組の充実や、環境整備を行うことで、歯・口の健康づくりについての意識を高め、習慣化を図るとともに、進んで生活習慣を改善しようとする意欲が高まるであろう。	仮説3 家庭や地域と連携を深め、中学校区全体に発信することによって、生徒が将来にわたって歯・口の健康づくりについて考え、その実践力が高まるであろう。

授業研究部	校内研修部	保健指導部	生徒活動部
授業研究 ・年間指導計画 ・指導資料 ・研究授業 ・記録	研究テーマ ・校内研修実施 ・研修計画 ・講師招聘 ・記録	習慣づくり ・アンケートの実施と検証 ・歯みがきの習慣づけ活動 ・CCN活動の推進	・生徒会活動 ・専門委員会活動 ・集会活動 ・生徒の諸活動 ・地域連携

家庭・地域・関係機関との連携		
家庭	地域	関係機関
・各種たより、通信 ・健康診断の事後措置 ・メール配信、ホームページの活用 ・オープンスクール(年3回)、参観日(年4回)、講演会 ・学校保健委員会、PTA活動 ・CCN活動 ・弁当の日	・中学校区研修、各分掌の部会 ・保幼小への出前授業または、リモートによる交流学習(専門委員会等) ・地域行事との連携(笠岡市健康推進課や児童館等)	・授業でのG・T指導(歯科衛生士) ・笠岡市教育委員会 ・学校歯科医(学校保健委員会での指導助言) ・笠岡市歯科医師会 ・笠岡市学校歯科医 ・笠岡市健康推進課 ・岡山県教育委員会保健体育課

※CCN活動(Challenge Change Nishichu)活動⇒生活習慣改善のための活動